

JENESYS2015（招へいプログラム） （対象国：ベトナム, テーマ：スポーツ（バドミントン交流）/ 社会（ジャーナリズム交流））の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ベトナムよりバドミントン、ジャーナリズムに関心を有する大学生 48 名が来日し、日本の政治、社会、歴史、外交政策及びスポーツ、メディア等に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、1 月 27 日から 2 月 2 日までの 6 泊 7 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

ベトナム 48 名

3. 訪問地

東京都（全員）、長野県（23 名）、福島県（25 名）

4. 日程

1 月 27 日（水） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

【日本理解講義・基調講演】

1 月 28 日（木） 【スポーツ交流】味の素ナショナルトレーニングセンター

（スポーツグループ）

【歴史文化・メディア視察】印刷博物館（ジャーナリズムグループ）

2 つのグループに分かれ、各地方を訪問

【地域理解講義】喜多方市（ジャーナリズムグループ）

1 月 29 日（金）～1 月 31 日（日）

1. グループ A（スポーツ）：長野県

【自然・環境体験】大王わさび農場、【歴史伝統文化視察】松本城

【学校交流】長野県松本蟻ヶ崎高等学校

【スポーツ交流・体験】バドミントン（長野県長野商業高等学校）

雪上スポーツ体験（スキージャンプ競技場）

【ホームステイ】、【ワークショップ】 報告会準備

2. グループ B（ジャーナリズム）：福島県

【学校交流】会津大学

【メディア視察】喜多方シティ FM

【歴史伝統文化視察】鶴ヶ城天守閣

【ホームステイ】、【ワークショップ】 報告会準備

2 月 1 日（月） 東京へ移動

報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

5. プログラム記録写真



1/28 バドミントン交流（東京都）



1/29 【学校交流】会津大学（会津若松市）



1/29 【メディア視察】喜多方シティFM（喜多方市）



1/31 【歴史文化】鶴ヶ城（会津若松市）



1/29 【歴史・伝統文化】松本城（松本市）



1/29 【学校交流】蟻ヶ崎高等学校（松本市）



1/31 雪上スポーツ体験（白馬村）



2/1 【成果報告会】（東京都）

6. 参加者の感想

◆ ベトナム 社会人

日本での滞在は深い印象をたくさん残してくれました。ホームステイを通じて、日本人の日常生活やコミュニケーションの取り方への理解を深める事ができました。長野県でのバドミントン交流はとても有意義でした。一緒にスポーツをすることによって、皆が年齢、性別、職業に関係なく、すぐに仲良くなることができました。白熱した試合をし、文化交流もすることができました。スポーツ交流を通じて得られた貴重な経験は一生忘れられません。2020年の東京オリンピックに向けて、今後もスポーツ交流が更に広がることを望んでいます。

◆ ベトナム 大学生

今回のプログラムに参加することによって、日本についての理解を深めることができ、また、多くの興味深い印象と思い出を得ることができました。日本での体験を、家族や友人に共有することにわくわくしています。来日しての第一印象は、空気や環境がきれいで、緑が多いことでした。特に蛇口から出た水道水をそのまま飲むことに驚きました。日本のことについて以前から話には聞いていましたが、実際に日本人と接して、日本人は勤勉で、テキパキと働き、ルールを厳守し、子どもからお年寄りまでみんな心が温かく、ホスピタリティー溢れる人々であることがわかりました。

◆ ベトナム 大学生

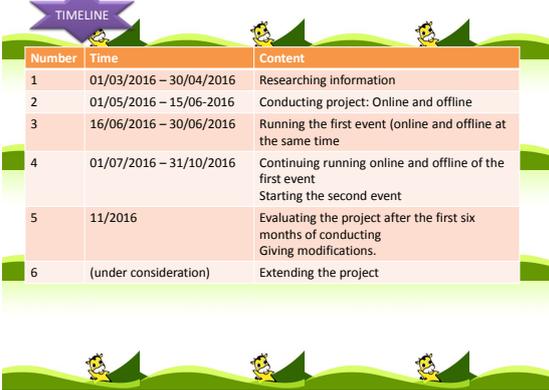
日本に着いた瞬間から、日本人のライフスタイルやマナーに触れることができ、なぜ日本が世界に尊敬される国なのかが、わかってきました。日本人はとても小さなことでも、丁寧に、ちょっとした工夫をしています。シンプルで簡単と思われる細かいことがちゃんと出来ることによって、もっと大きなことができると日本人は思っているようでした。今回の訪日は普通の見学に留まらない、発信のミッションが含まれた訪問であり、帰国後私は自分が日本で体験したこと、日本人の暖かい心、自分の感想などを多くのベトナム人に伝えたいと思います。ベトナムが日本のように発展するための成功の秘訣は、人の強い意志・高い意識であるということベトナムの多くの人たちにわかってもらいたいと思います。また、今回のプログラムを通じて、ベトナムが他の国並みに発展できるた

めに、若い世代の私たちはもっと努力し、自分を啓発する必要がある、と認識しました。

◆ ベトナム 大学生

日本に来る前に、私は日本国についてメディア等を通じてある程度勉強していました。しかし、ホームステイプログラムで日本の家族と一緒に過ごしたことによって、自分が予想もしなかった深い印象を受けました。2泊3日のホームステイのプログラムで、日本の精神についてよく理解できました。ホストファミリーのお父さん、お母さんの暖かい歓迎は私たちをとっても感動させ、両国の友好関係を更に発展させる自分の役目を認識させてくれました。また、一般的な家庭の生活ぶりに触れることによって、日本政府の政策や技術的な成果がいかにより日本人の生活に活かされているかを理解することができました。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）

<p>- Con người Nhật Bản thân thiện, hiếu khách, đồ ăn phong phú, đa dạng, khu vườn wasabi được trồng với nguồn nước sạch.</p> 																						
<p>日本での気付き</p>	<p>アクションプラン</p>																					
	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Number</th> <th>Time</th> <th>Content</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01/03/2016 – 30/04/2016</td> <td>Researching information</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01/05/2016 – 15/06-2016</td> <td>Conducting project: Online and offline</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>16/06/2016 – 30/06/2016</td> <td>Running the first event (online and offline at the same time)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>01/07/2016 – 31/10/2016</td> <td>Continuing running online and offline of the first event Starting the second event</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/2016</td> <td>Evaluating the project after the first six months of conducting Giving modifications.</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>(under consideration)</td> <td>Extending the project</td> </tr> </tbody> </table>	Number	Time	Content	1	01/03/2016 – 30/04/2016	Researching information	2	01/05/2016 – 15/06-2016	Conducting project: Online and offline	3	16/06/2016 – 30/06/2016	Running the first event (online and offline at the same time)	4	01/07/2016 – 31/10/2016	Continuing running online and offline of the first event Starting the second event	5	11/2016	Evaluating the project after the first six months of conducting Giving modifications.	6	(under consideration)	Extending the project
Number	Time	Content																				
1	01/03/2016 – 30/04/2016	Researching information																				
2	01/05/2016 – 15/06-2016	Conducting project: Online and offline																				
3	16/06/2016 – 30/06/2016	Running the first event (online and offline at the same time)																				
4	01/07/2016 – 31/10/2016	Continuing running online and offline of the first event Starting the second event																				
5	11/2016	Evaluating the project after the first six months of conducting Giving modifications.																				
6	(under consideration)	Extending the project																				
<p>アクションプラン</p>	<p>アクションプラン</p>																					